

平成28年度 教育活動におけるアンケート集計結果

皆様にご協力いただいた学校教育のアンケートの集計をご報告いたします。改善すべきところは改善し、よりよい九段小学校にしていきたいと考えております。

1 学校と保護者・地域との連携

<p>(1) 学校便り、学年便り、ホームページ等を通して、九段小学校の教育の方針や学校の取組等をわかりやすく伝えようと努めました。この点についていかがですか。</p> <p>④不十分, 0% ⑤よく分からない, 1% ③やや不十分, 0% ②まあまあ満足, 21% ①満足, 77%</p>	<p>(2) 土曜授業、授業参観、及び保護者会等で、教育活動や子どもの様子を分かりやすく伝えようと努めました。この点についていかがですか。</p> <p>④不十分, 0% ⑤よく分からない, 0% ③やや不十分, 1% ②まあまあ満足, 21% ①満足, 78%</p>
<p>(3) 一斉下校訓練、歩行マナーなど児童の安全確保や安全対策に様々な配慮をまいりました。この点についていかがですか。</p> <p>④不十分, 0% ⑤よく分からない, 1% ③やや不十分, 4% ②まあまあ満足, 20% ①満足, 75%</p>	<p><u>＜今後の対応＞</u></p> <p>日頃の教育活動の様子をホームページに記載してお伝えするようになっている。様々な教育活動が記載されているので楽しみにしているというご意見を今年度も多数いただいた。</p> <p>今後もお便りやホームページを通して、地域及び保護者の方々に学校の様子をより分かり易くお伝えし、家庭と学校とさらに連携を深められるようにしたい。登下校の安全や校舎内の安全対策等安全・安心を第一に全力を尽くしてきた。歩行マナーについても繰り返し指導を行ってきた。高学年が礼儀正しいので下学年のよい手本となっているというご意見をいただいた。挨拶は、校内だけでなく地域の方々やシルバーさん等にもしっかりとあいさつできるように今後も、地域や保護者の方々にご協力いただきながら、学校で指導を徹底していきたい。</p>

2 授業をはじめとする教育活動

<p>(1) 「あいさつ名人」「算数チャンピオン」「九段チャンピオン」「ホームスタディ賞」の取組で子どもたちが進んで基本的な生活・学習習慣が身に付くように努めました。この点についていかがですか。</p> <p>⑤よく分からない, 13% ④不十分, 0% ③やや不十分, 1% ②まあまあ満足, 26% ①満足, 60%</p>	<p>(2) 「一学級一実践」(体育)や「科学の日」(理科)「算数オリンピック」(高学年:算数)などの取組を通して、子どもたちが興味・関心をもって進んで学習に取り組めるように努めました。この点についていかがですか。</p> <p>⑤よく分からない, 9% ④不十分, 1% ③やや不十分, 1% ②まあまあ満足, 27% ①満足, 63%</p>
<p><u>＜今後の対応＞</u></p> <p>児童の「やりたい。」「知りたい。」「がんばろう。」という気持ちを引き出すような取組や指導を工夫してきた。表彰朝会でチャンピオンや名人を表彰することでさらに児童の意欲や関心が高まった。保護者の方々には次年度の保護者会でも取組内容について説明したい。</p> <p>また、今年度、体力向上推進優秀校として都の表彰を受けた。一学級一実践の取組や九段チャンピオンの取組などで着実に体力の向上が図られている。引き続き取り組んでいきたい。</p>	

<p>(3) 縦割り班活動を通して、子どもたちが自分を発揮し、協力し合うことのよさを味わえるように努めました。この点についていかがですか。</p>	<p>(4) あいさつ・礼儀・言葉遣い・姿勢・聴き方・話し方・後片付け等、当たり前が当たり前できるように、「九段スタンダード」を基にした指導を徹底してきました。この点についていかがでしたか。</p>
<p><b>&lt;今後の対応&gt;</b>  異学年交流で互いに知り合える、また助け合える機会を日常的に設定してきた。異学年交流は、本校の重点教育活動の一つである。今年度は、新しい取組としてふれあい持久走大会を行った。励まし合い教え合うよい機会であった。  また、「九段スタンダード」を通して、学校と家庭と共通理解を図ることができ、家庭での子どもの接し方がわかりよかったというご意見をいただいた。今後も家庭と学校との「共育」を大切にしたい。</p>	

### 3 学校生活全般

<p>(1) 不審者の侵入防止対策や施設・設備の点検、状況に応じて安全確保の為に家庭へのお知らせ等 子どもたちの安全確保に努めました。この点についていかがですか。</p>	<p>(2) 道徳地区公開講座や道徳の授業を中核に全教育活動で子どもたちの心をより豊かに育てる姿勢で指導にあたっています。この点についていかがですか。</p>
<p>(3) スクールカウンセラーとの子どもたちの状況をつかみ、悩みにも適切に対応するよう努めました。この点についていかがですか。</p>	<p><b>&lt;今後の対応&gt;</b>  「安心・安全」ということで不審者の侵入防止に努めた。児童下校後も門に施設管理員さんがいてくださりいつも見守っていただいている感じがする、というご感想をいただいた。引き続き子どもたちの安全確保に努めたい。  道徳授業地区公開講座では、多くの地域・保護者の方々にゲストティーチャーになっていただき、地域・保護者・学校が一体となっている感じがした。また、スクールカウンセラーとの面談では、子どもに適した接し方を教えていただき助かったという感想をいただいた。今後も引き続き実施し、多くの職員で児童一人一人を見守っていきたいと考える。</p>

### 4 その他ご意見への対応

- 保護者の方々に行事の参加を含めて、毎月一度来校していただく機会を設定した。次年度も毎月保護者の方々が来校できる機会を設定したい。また、毎学期1回は、道徳授業地区公開講座の日や学校公開及び3学期には保護者会の前に授業参観を設定し、授業を観ていただく機会を設定していく予定である。
- 挨拶をシルバーの方々には、あまりしていない姿を時々見受けるとのご意見をいただいた。挨拶指導は重点項目の一つとして毎日繰り返し指導している。挨拶の大切さの指導を含めて今後も指導を繰り返す。
- 今年度、通学路を変更した。教職員は、児童の登下校の安全確保や歩行マナー指導のために、毎日見守りを行っている。また、保護者の方々にも、児童の登下校を見守っていただきご協力に感謝したい。
- 今年度も、ワッハッハの日やふれあい体験広場の他、朝の読み聞かせや囲碁授業など保護者やボランティアの方々、地域の方々や近隣の大学、日本棋院の方々などに大変お世話になった。児童は様々の立場の方々にふれあうことで、いろいろな体験をし多くのことを学ぶことができた。次年度も、安心して落ち着いた学校生活を送れるように配慮をしていきたい。児童の安全な登下校については、次年度も引き続き、登下校の安全確認・対策を強化していきたい。

## 平成28年度 千代田区立九段小学校・幼稚園 第二回 学校(園)運営連絡会記録

【日 時】 平成29年2月21日(火) 16時～17時

【参加者】 三番町町会長 田中 康博様  
四番町町会長 杉田 宗一様  
九段小学校同窓会会長 木田 昌宏様  
元人権擁護委員 杉本 昭子様  
民生児童委員 上村 友子様  
主任児童委員 坂口 純子様  
九段小学校 PTA 会長 久保寺 健郎様  
九段幼稚園さつき会会長 大原 麻有子様  
九段幼稚園さつき会前会長 鈴木 紀子様  
九段小学校長・幼稚園長 鈴木 邦夫  
九段小学校副校長 湯本 正雄  
九段幼稚園副園長 野口 悦子  
九段小学校幼稚園教職員 有賀 英子 竹内 とも子 岸 香織利 光枝 祥子

### 1 校園長挨拶

本日はお忙しい中、お寒い中ありがとうございます。

運営委員の皆様にとって、少しでも近い場所だと考え、今回はさくら館での実施といたしました。学校、園をいつも支えてくださっている皆様と、意見交換しながら交流を深めて参りたいと思います。後ほど、本制度の変更についてもご報告させていただきます。

教育界についてですが、間もなく、10年に一度の大きな改定があります。これまでも大切にしてきたことではありますが、知識としてだけでなく、「どう学ぶか、どう活かすか」という力について打ち出されています。今ある仕事が10年後20年後には無くなるかもしれない、効率化、自動化が進む中でも、自分で考え、豊かな生活を送ることができるよう学校での指導も改善して参ります。

平成30年度より特別の教科となる道徳についてですが、先日の研究発表会で全国に向けて手本を示したところです。

繰り返しになりますが、今お集まりの皆様は、本校園を支えてくださる中核の皆様です。

本日はどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 2 自己紹介

### 3 平成28年度教育課程実施の評価について

#### 【幼稚園より 28年度 教育活動の報告】

- ・「かしこい」九段の教育の推進
  - 「か」…かかわりを大切にした教育 (異年齢児交流・小学校との交流など)
  - 「し」…自分から進んで取り組む態度の育成 (当番活動・縦割り班活動など)
  - 「こ」…言葉を大切にした教育 (小学生読み聞かせ隊・保護者読み聞かせなど)
  - 「い」…いつも元気な子どもの育成 (運動遊びの推進・北の丸公園の活用など)
- ・保護者評価について  
異年齢児交流、小学生との交流について特に高い評価をいただいた。
- ・1月20日園内研究報告会  
区内外より大勢の参観者があり、「健康な体と強い心」についての報告を行った。

#### 【小学校より 28年度 教育活動の報告】

- ・表彰朝会の導入 学校独自の教育活動「算数チャンピオン」「ホームスタディ賞」「九段チャンピオン」「あいさつ名人」
- ・学力調査の結果 PDCA サイクルを導入
- ・体力向上推進優秀校として表彰
- ・靖国神社内に通学路の変更
- ・研究発表会の報告 1月20日研究発表会 全国から800名ほどの参会者が来校
- ・保護者評価について  
どの項目も、満足、ほぼ満足の肯定的評価をいただいた。年々肯定的な評価が多くなってきている。  
保護者から学校に対する信頼と理解が得られている。  
保護者がよく分からないと回答している教育活動については、次年度も引き続き全体保護者会などで説明をしていく。

### 4 平成29年度教育課程の編成について

#### ○幼稚園より

- ・バス登園の保護者と徒歩登園の保護者が交流する機会となるよう、月に一回程度スクールバスを運行しない日を設ける予定。

#### ○小学校より

- ・安全教育の徹底
- ・体力向上につながる取組の継続実施

### 5 地域の皆様と学校・園の懇談

- 挨拶指導、挨拶当番があっても、これまで校外での挨拶はなかなかしにくいところだった。しかし、先日二七通りで、女子児童から挨拶をしてもらった。校外では、こちらからは声をかけにくいので、子どもから挨拶をされて嬉しかった。先生方の指導の賜物だと感じた。

昔は、保護者と地域の商店に買い物に行き、保護者とともに地域の人たちを覚えていくものだったが、今はコンビニやスーパーがあり地元との接点はもちにくい時代になっている。

学校行った時の挨拶が一番交わしやすいので、引き続き学校で子どもたちとの挨拶をはじめとしたかわりを大切にしたい。

○挨拶は、子どもの声も大きくなり、頑張っていると感じる。

通学路が長いせいか、他校と比べて遅い時間に歩いている様子を見掛ける。11月～12月など、日の短い時間帯は、一番町の町内は街路灯が暗いので電車通学の児童は特に心配である。

○移転当初よりも落ち着いて、余裕を持った登下校をしているように感じる。

体力向上の結果を聞いて安心した。校庭の広さの問題ではないと感じた。

挨拶は幼稚園の運動会で幼稚園児が立ち止まってお辞儀して通っていった。幼稚園児から小学校児童までよく挨拶している。礼儀正しいと感心した。

○挨拶にしても何にしても、学校でも教えてくれているが、学校と家庭の両輪で指導していくとより効果的でよい。現在の家庭の中では、のびのび育てたいという方針の家庭もあるが、やはり挨拶については小さいうちから家庭でも教えていくことが大切だと考える。

登下校については、歩道の端によりバランスよく歩いている。大妻大学の交差点で信号が変わると、学年が違う子も声をかけ合い歩いている。先生方の見守りや指導が行き届いていると安心している。

○幼稚園と小学校の連携が密なので、親子でとても安心して入学できる。自分自身もそうだった。

先日靖国神社を歩いていたら、景色がいいところを小学生が歩く様子が微笑ましかった。歩道ではなく、広い参道の、しっかり道路側を歩いていた。九段小学校の子がああ道を歩いて良かった。あの景色を味わいながら、学年を超えて心を通わせ歩く姿は絵にしたいほどよいものと感じた。

○「くだんこども劇場」で、3、4、5歳児と拝見させていただき、1年でこんなに大きく成長するものかと、とても感動した。5歳児はもうすぐ小学校という自信が感じられ素晴らしかった。

小学校の取組の中に「〇〇チャンピオン」とあったが、得意不得意がある中でも、いろいろな子がチャンピオンになれるってすてきな取組だと思う

研究発表会では、流行のライブビューイングを取り入れ、技術もアイデアも素晴らしいと思った。

○PTA 会長 5年目なので、挨拶してもらう機会が多くなってきた。

息子に関して言えば、挨拶を自分からあまりしようとせず、外だと照れ臭いのかと思っていたところ、知り合いからは「いつも元気に挨拶してくれる息子」と言われる。親が言っても効かないことも、よその人に注意されたりするとよいのかなと思った。大人に見守られ大きくなっている。

体力向上の結果は、学校での取組と合わせて通学路を歩く距離が長いこともよい影響につながっているのではないかと感じた。早く起きて、早めに家を出るリズムが、親も子どももできたのではないか。

昔より学校行事も多いし、幼小の活動もある中でも、先生方が本当によくやってくれる。

○1年生の娘を、靖国神社南門まで毎朝見送っている。そこに立っている女性のシルバーさんが、いつも元気に声をかけている。「おはようございます。」の挨拶に人柄が出てきて、お互いに挨拶することが気持ちよい。挨拶が帰ってくるまで大きな声で挨拶している。

入学当初は恥ずかしがっていた娘も、今では自分からシルバーさんに挨拶するようになった。

低学年の下校時間帯は、バス利用もいるため人数が少ないが、それでも必ず交差点で立って待っていてくれる。低学年の歩みはゆっくりなので、立っていてくれるシルバーさんに申し訳ないと思いそのことを伝えると、「お母さん、これでいいんですよ。友達としゃべったり、触れ合ったりする時間が大きくなった時の力になる。貴重な時間です」と言われた。

有難いと感じると同時に親の方が学んでいると思った。いつでも、温かく見守ってくださり感謝。

○先日の幼稚園保護者会で、改めて保護者のつながりが強く感じられた。先生方の細やかな配慮を感じ、「ここまで先生たちがやってくれるから！」と保護者もみんな協力したいと思っている。保護者同士連携して小学校に入学するので、学校と保護者が良好な関係でスタートしていると感じる。反対に小学校で丁寧な指導している道徳教育は自然と小学校から幼稚園に良い影響を与えてくれる。

息子の話から、友達同士高め合っている教育内容が伝わる。学校も園も、全職員が子どもたち全員を見守ってくれていると感じる。

## 6 学校運営協議会制度について

次年度より制度が変わり、名称も「学校運営連絡会」から「学校運営協議会」となる。本校はすでにその内容で行っているが、趣旨にのっとり、地域や保護者の代表である委員の皆様との連携をより一層深める機会としたい。なお、委員には謝金が出るようになる。